



おむつ給付の個別対応は？ 障害者の地域生活の充実を 官民の障害者雇用の促進を

社民・民主・護憲クラブ 古庄 和秀議員

問 3月の条例改正で、紙おむつの支給基準を見直されたが、本当に必要な方には個別に対応し、支給していくと答弁された。一連の個別対応の経過と総括を聞きたい。

答 紙おむつの支給基準を7月に見直したが、これまでの生活が続けられないと考えられる方には、要件にかかわらず、引き続き、紙おむつ給付を継続していく。

問 10月から障害者虐待防止法が施行されるが、本市の具体的な体制を聞きたい。

答 福祉課内に障害者虐待防止センターを設置し、市民からの障害者虐待の通報などを24時間体制で受ける。

問 来年度から市の障害者雇用率が2.3%に改定されるが、民間を牽引する立場として、職員削減前の20年度の数で計算・公表し、それを目標値とすべきではないか。

答 趣旨は十分理解し、今後、公表していきたい。17人を目標とし、可能な限り障害者の雇用確保に取り組む。



本市の歴史に欠くことのできない 三川坑跡の保存を

自由民主党議員団 入江 裕二郎議員

問 近代化産業遺産とともに三川坑跡も保存すべきと考えるかどうか。

答 三川坑跡は、まちづくりプランで拠点施設の一つとして位置づけ、保存し、次世代に継承するとともに、まちづくりに活用したいと考えている。市民意見を聞きながら、保存活用を進めていきたいと考えている。

問 九州北部豪雨に伴う三池港への漂着ごみの処理について聞きたい。

答 三池港への漂着ごみについては、港湾管理者である福岡県の責務として処理が行われることになっている。

問 有明圏域定住自立圏形成協定において、広域連携での災害廃棄物処理システム構築の考えはないか。

答 災害廃棄物処理は自区内処理が原則であり、協定項目には掲げられていないが、被災規模によっては県に調整を要請し、他自治体の協力を得て処理することになる。



健康づくりで社会に貢献できる 健康ポイント制度の創設を

公明党議員団 今村 智津子議員

問 兵庫県豊岡市では、健康ポイント制度を昨年8月から始めている。これは、日常の運動や健康診断、人間ドックの受診、予防接種といった健康づくりの実績に応じてポイントを付与し、たまると換金して市内の保育園・幼稚園・小中学校などへの寄付や、市の温泉施設や運動施設の利用券と交換できる制度である。

本市でも、病気の予防や早期発見、早期治療につながる行為にポイントを付与する健康ポイント制度を創設し、独自の企画を考えてはどうか。

答 同制度は、健診の受診やスポーツを含めた健康づくり事業の参加者数をふやすなど、市民の健康づくりの意識を高める方法の一つとして取り組まれている。他自治体における制度の内容やその効果など、今後の検討課題としたい。



手鎌南川河川改修工事の 早期再開を

自由民主党議員団 森 竜子議員

問 手鎌南川河川改修については、25年度の予算確保のためにも、早急に地元説明会を開催すべきではないか。

答 早ければ年内に説明会を開催し、調節池の整備に対する地元関係者の理解をいただきたいと考えている。

問 新大牟田駅の観光情報発信等施設は、誰のためにつくるのか。出入口の設定等、見直しが必要ではないか。

答 観光振興を図る観点から、駅利用者の利便性を高めることを第一の目的としている。外から施設への直接の出入りについては、可能性を検証したいと考えている。

問 いじめ問題は、未然防止も重要だと考えるかどうか。

答 現在行っているさまざまな取り組みを充実させ、未然防止、早期発見、早期対応に努めたいと考えている。

問 25年度以降のスクールソーシャルワーカーの配置・拡充の検討について聞きたい。

答 国・県の動向等を注視し、検討を進めたい。